

2024年6月19日

 熊本県宇城市
 イオンモール株式会社
 NTT 西日本熊本支店

熊本県内初 JR 小川駅とイオンモール宇城間で自動運転実装実験

熊本県宇城市、イオンモール株式会社（以下、イオンモール）、西日本電信電話株式会社熊本支店（以下、NTT 西日本熊本支店）の3者は、自動運転社会実装推進事業コンソーシアムを組成し、JR小川駅とイオンモール宇城間で県内初の「宇城市自動運転実装推進事業」を3者協働で行い、地域課題の解決に取り組めます。

国土交通省「令和6年度地域公共交通確保維持改善事業費補助金（自動運転社会実装推進事業）」を活用した実装実験で県内初の採択となります。

1. 背景・目的

全国的な人口減少や深刻な運転士不足により、地域公共交通の維持が困難となっている一方で、高齢化と免許返納後の移動手段の確保に対する住民ニーズは依然として大きいものがあります。宇城市においても住民生活において、利便性の高い公共移動手段は必要不可欠ですが、人口減少やそれに伴う深刻な運転士不足により、地域公共交通の維持が困難な状況となっているのが現状です。

そのような中、同市のJR小川駅からイオンモール宇城周辺は、同市の都市計画マスタープラン・立地適正化計画において地域拠点・地域交流ゾーンに位置付けられています。また、同区間の既存のコミュニティバスについては、年間48,000人に利用されています。駅周辺の立地環境を活かし、域内交流によるにぎわいの創出及び活性化を図るとともに、持続可能な地域社会の実現に向け、自動運転EVバスの導入・運行の実装実験を実施します。

2. 実装内容

- (1) 実施時期 : 2024年12月頃（1週間を予定）
- (2) 実施場所 : JR 小川駅～イオンモール宇城
- (3) 使用車両 : EVO（エヴォ）
 - ・定員12名
 - ※実装実験時10名（乗客9名 + オペレータ1名）
 - ・最高速度 20km/h 未満
 - ※1回の充電で9時間（約100km）自動走行可
- (4) 事業費 : 35,000千円（採択額）
- (5) 運行ルート（予定）



(6) 役割分担

①宇城市（団体代表）

- ・ 自動運転事業の運営主体
- ・ 走行ルート、停車/駐車/充電エリアの提供
- ・ 利用者向けのプロモーションの実施 等

②イオンモール

- ・ 充電設備設置、駐車スペースの提供候補地としての対応
- ・ バス運営に関するアドバイス 等

③NTT 西日本

- ・ プロジェクトマネジメント
- ・ 全体要件・構成検討
- ・ フィールド検証企画・調整 等

※協力企業

NTT ビジネスソリューションズ株式会社, 株式会社マクニカ

3. 今後の展開について

実装実験を通じて課題解決を図り、宇城市の地域住民および周辺地域、観光客の皆さまが安心して利用できる安全で快適な自動運転サービスの実現をめざします。